よくわかる公共事業

令和4年度

（都）渋川高崎線（街中工区）歩道整備事業

政策3　多様な移動手段の確保

施策３：歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

事業概要

■所在地：渋川市石原
■路線名： 都市計画道路　渋川高崎線
■事業内容： 現道拡幅　延長 660m　幅員 16～18m（2車線）
■全体事業費：約18億円
■事業期間：令和3年度～令和11年度（9年間）
■現在の交通量：14,433台/日（自動車）
　　140人/日（歩行者）
　　158台/日（自転車）
■計画交通量：12,300台/日（自動車）

事業位置

どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するために

歩道を整備します

地元の声

・小学校の通学路となっているため、登下校する自動の安全を確保してほしい。（発言者：地元住民）
・道が狭く自転車と車との接触が心配なので、自転車と車の通行を分けてほしい。（発言者：地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
事故件数	3件（事業前5年間平均）	0件

実施前

◆歩道が狭く、自転車が車道を走るなど、交通事故のおそれがあります。

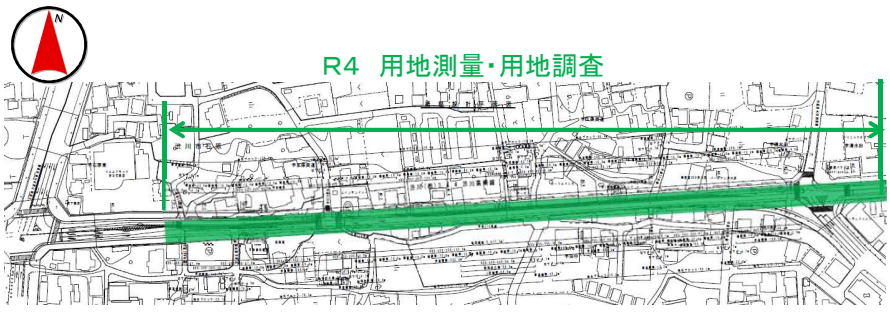
歩行者と自転車の通行状況

実施後

◆車道と歩道の分離と自転車通行帯の設置により、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保します。

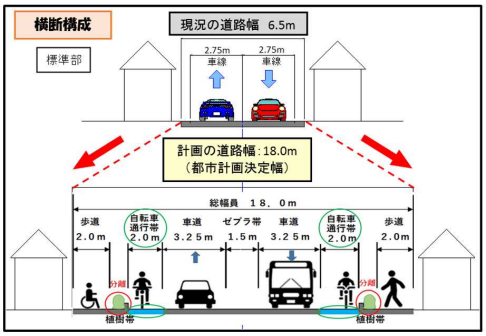
歩行者と自転車の通行イメージ

事業の進捗状況（R4年3月現在）



今、何をしているか

令和４年度は用地測量・用地調査業務を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●■・・・